

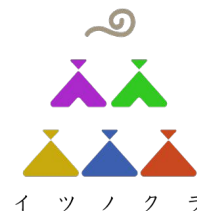
# 地元の愛する歴史と史実のギャップ ～埋め合わせに対するポリシー～

2019/12/28

合同会社イツノクラ

<https://5no-kura.com>

# ギャップが生まれる背景に対する一見解



様々な事件・事故が発生した際には、当事者・当事者外にて理解が異なる。また当事者であるほど**主観的意見が主となり客観的事実は失われる**。これは現代に起きている事件に関しても同様であり、客観的立場で記録を残しているかのように見える新聞報道も会社やライターの主観が入り混じった記事であり、客観的事実が全て記されてはいない。これらは当然ながら歴史的事件に関しても同じことがいえる。

歴史は、過去の当事者・当事者外であった人が**それぞれの”認識したものを記した”記録を読み、解釈しているのが歴史的事実**である。

よって、記録がなく不明であること以外に、以下の例のような問題も多くある。

記録により様々違うことが描かれている

- 筆者により認識が違う。筆者の忖度が記録されている。
- 記録が改ざんされている。 記録が写し間違っ伝わっている。など

しかし最も気を付けなければならないことは、当事者外の人**は認識したい方向で認識を捻じ曲げることも多様にある**ということである。「Twitterで〇〇さんは△△だと言っている人がいる、他は□□だと言っているが△△が正しいに違いない」などのように根拠のない思い込みが発生していくことである。

人は理解したいことだけを認識する特性がある

# 歴史でのフィクションとの混同に対する一見解

歴史とフィクションの混同とは何か。

・江戸中期から明治にかけての創作により、軍記物などが盛んに作成された。

→ 創作されたものを正しいと認識するように変化。

水戸黄門 全国旅して正義を貫く 正しくは、旅はして居ない

↳ 山岡荘八の時代小説。1957年刊行。その後TBSがテレビドラマ化。

石川五右衛門 義賊 正しくは、桃山時代の大盗賊

↳ 江戸中期の浄瑠璃、歌舞伎にて脚色された。

猿飛佐助 真田十勇士の一人として活躍 正しくは、創作された架空の人物

↳ 江戸中期に真田十勇士という言葉が創作された。

その後、明治の講談により猿飛佐助西遊記の孫悟空がモデルとされるが創作された。

真田幸村 正しくは、真田信繁をモデルとした架空の人物

↳ 江戸中期にて、真田幸村という名で創作がされた。

フィクションにより、作成されたが**時流に乗り**時代のヒーローへ高められたことにより、存在した人物として混同されている。

時流に乗り多くの人を知ることにより、認識が変わる

# 埋め合わせのポリシー

前述の通り、人の認識は以下の特性がある。

- ・時流に乗り多くの人を知ることにより、認識が変わる
- ・人は理解したいことだけを認識する特性がある

長年信じた認識の中で、愛する地域の歴史伝承は容易に変えることはできない。また今確認できていることを100%正しいと押し通しても、今後史料の発見により変わるかもしれない歴史を押し通すことに意味はない。

よって、以下のポリシーにて埋め合わせすることとする。

- ・史資料が示す歴史は、一つの情報として利用する。
- ・フィクションが混ざっていたとしても人の認識には言及しない。

プラス ( + 歴史学者ではなく、イツノクラならではの

- ・できる範囲でフィクションも調べたものも、一つの情報として利用する。